



2024協約改訂を全組合員で闘おう！シリーズ⑦

リニア建設は直ちに中止せよ！ 新幹線開業60周年特別手当を支給せよ！ 第6回団交開催

本部は本日、2024年度労働協約改訂及び労働条件改善に対する第6回団体交渉を開催しました。今団交では、リニア建設、新幹線開業60周年記念の特別手当、福利厚生などについて議論しました。

リニア建設について、本部は「資金調達も返済計画も明らかにできないことは、健全経営ではないという証左だ。経営破綻は確実だ。直ちに建設を中止せよ」などと主張しました。しかし、会社は「二重系化し大動脈輸送を担うことが当社の使命だ。健全経営・安定配当をしていく」などと、抽象的な回答に終始しました。また、工事による水源枯渇や有害物質検出、高速長尺先進ボーリング、大量流水対策、枯渇した場合の補償、2027年以降に完了する工区などの質問に、会社が一切回答しなかったことについて、本部は「回答になっていない。真面目に回答せよ」と主張しました。しかし、会社は「誠意をもって回答した。これ以上の詳細なことは差し控える」として対立しました。

新幹線開業60周年記念として、1人10万円の特別手当を要求しました。本部は「この間、安全・安定輸送を担ってきた社員に対し、感謝の気持ちを目に見える形にせよ」と主張しました。しかし、会社は「60周年問わず、様々な形で労働条件向上を不断に行い社員の努力に応えている」として対立しました。

福利厚生で、本部は「社員家族用の購入券は、新幹線に乗車して在来線駅で下車する場合、乗車券を新幹線区間と在来線区間と別に購入しなければならない。不便だ。乗車券を乗車駅から下車駅まで買えるシステムにせよ」と主張しました。しかし、会社は「システム上、これを変える考えはない」として対立しました。

また、台風10号による勤務手配、乗務員の運用、労働時間などについて、現場で発生した問題点を出し、会社に改善や対策を追及しました。

今団交で、申し入れに対する交渉は終了し、次回9月13日に回答が示されます。